

科目名	コンピュータ関連知識 1							年度	2025
英語科目名	Basic Computer Knowledge for Beginners 1							学期	後期
学科・学年	医療事務科 1 年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	安本和則	教員の実務経験		有	実務経験の職種		情報処理		
【科目の目的】									
コンピュータを構成するハードウェア、ソフトウェアを理解できること、また、医事コンピュータ実務検定 3 級合格を目的とする。									
【科目の概要】									
コンピュータの情報表現や、ハードウェア、ソフトウェアについて学びます。									
【到達目標】									
A. 医療関連の業務において、ITに関する知識の修得が大変重要であることを理解し、主体的に知識を修得できている。 B. コンピュータのハードウェアの仕組みについて理解している。 C. コンピュータのソフトウェアの仕組みについて理解している。 D. コンピュータ内部の情報表現方法について理解している。 E. 学習した内容を活用して、検定試験問題に解答できる。									
【授業の注意点】									
コンピュータの仕組みであるハードウェア、ソフトウェアを理解することで、今後の医療IT化に対応できるようにする。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により内容が前後する場合もある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力				
到達目標 A	ITに関する知識の重要性を理解し、検定合格も含め、主体的に取り組めている	ITに関する知識の重要性を理解し、主体的に取り組んでいる	ITに関する知識の重要性は理解しており、取り組みに主体性が出てきている	ITに関する知識の重要性は理解しているが、受動的な取り組みに留まっている	ITに関する知識の重要性を理解できず、主体的に取り組めていない				
到達目標 B	ハードウェアの仕組みを理解しており、実務に活用できるスキルを修得している	ハードウェアの仕組みを理解しており、検定問題にも正しく解答できる	ハードウェアの仕組みを理解している	ハードウェアの仕組みをおおよそ理解できている	ハードウェアの仕組みをほとんど理解できていない				
到達目標 C	ソフトウェアの仕組みを理解しており、実務に活用できるスキルを修得している	ソフトウェアの仕組みを理解しており、検定問題にも正しく解答できる	ソフトウェアの仕組みを理解している	ソフトウェアの仕組みをおおよそ理解できている	ソフトウェアの仕組みをほとんど理解できていない				
到達目標 D	情報表現の仕組みを理解しており、実務に活用できるスキルを修得している	情報表現の仕組みを理解しており、検定問題にも正しく解答できる	情報表現の仕組みを理解している	情報表現の仕組みをおおよそ理解できている	情報表現の仕組みをほとんど理解できていない				
到達目標 E	学習内容を活用し、検定に確実に合格できるレベルの知識を修得している	学習内容を活用し、検定にほぼ合格できるレベルの知識を修得している	学習内容を活用し、検定の合格ラインレベルの知識を修得している	学習が不十分で、検定の合格ラインに到達できていない	主体性に欠け、学習も不十分なため、検定合格はかなり厳しい状態である				
【教科書】									
医事コンピュータ関連知識/㈱建帛社									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
課題、小テスト、試験等を含めて総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

[illegible]